

新型コロナウイルスに対する感染防止対策

当スクールでの感染対策

SIA(公益社団法人日本プロスキー教師協会)が提唱している感染拡大予防ガイドラインに準拠し、安心して、ご入校いただくために、さまざまな対策を実施して行います。

【お客様へのお願い】

- 体調管理をしっかり行っていただき、体調不良の際には、直前でもご参加を取りやめるようお願い申し上げます。
- マスク、ネックウォーマー、ネックチューブ等の鼻まで覆うことのできるものの着用をお願いします。
- Webからの事前予約及び決済をお願いします。

【受付での対応】

- 当日の受付はペーパーレス化します。事前にメールで申込事項をお送りください。
- お支払いは、クレジットカード、PayPayでの決済を推奨します。

【レッスンでの対策】

- レベルに応じてレッスン場所を分けて密を避け、効率よくレッスンを実施します。
- プライベートレッスンを推奨し、コースレッスンでは、少人数制で実施します。
- 昼食の時間帯を避け、様子を見ながら密を避けられるようにレッスン時間の調整を行います。
- ミーティングは、人数により密にならないよう注意し、場所も考慮します。

そして、
スタッフの
健康管理は？

- ①毎朝の検温を実施！
- ②手洗い、うがい、消毒の実施！
- ③館内でのマスク等の着用義務化！
- ④接触の際は、手袋の着用！
- ⑤状況に応じて、適宜健康・安全を最優先する！

スキー場の感染対策

志賀高原中央エリアスキー場では、お客さまとスタッフの健康と安全の確保を最優先に、新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、以下の対策を実施いたします。

- 各施設の各所へお客様用消毒液の設置
- 必要各所の飛沫防止用シート又はアクリル板の設置
- 密閉空間になりやすい箇所（ゴンドラや建物内など）の換気の実施
- お客様の密集ができないようご案内（誘導）
- チケット・金銭等を受け渡しする際には、肌が接触しないように受け皿等での受け渡しの実施

【索道施設】

- ゴンドラリフト及びチェアリフト（以下、「リフト」という）搬器の定期的な消毒と拭き取り
- 混雑時におけるリフト搬器の人数制限の実施
- リフト乗車の際はお客様グループ単位でのご乗車の実施

【レストラン・売店等】

- 混雑時における売店、レストランなどでの入場制限の実施
- 売店やレストランでお客様同士がソーシャルディスタンスを確保できるよう案内板等の設置
- 座席の間隔は一定の距離を確保するよう実施
- テーブル・イス等また、発券機・トイレ・手すり等々の定期的な消毒と拭き取り

【当社従業員の予防対策】

- 毎朝出勤前の検温及び体調チェックの実施
- うがい、手洗い、アルコール消毒の徹底
- 手袋やマスク等の着用の徹底

【お客様へのお願い】

- 同居のご家族も含め、ご来場前の体調管理をお願いいたします。
- 発熱やせきなどの軽い風邪症状が続いている、だるさや息苦しさがある方は来場をお控えください。
- 手洗いや手指消毒、マスク等お客様自身での感染予防をお願いいたします。
- 密集ができないよう、他のお客様と一定の距離を保ってください。
- 飛沫防止の為、近くに他のお客様やスキー場係員等がいる場所では、手袋やマスク等の着用をお願いします。
- リフト乗車の際は、手袋やゴーグル・マスク等は着用したままにしてください。
- リフト乗車待ちもしくは乗車中の会話は控えめとし、チェアリフト乗車中は極力前方を向いたままご乗車ください。
- 混雑時の待ち時間を踏まえて、係員が搬器の乗車人数を決めることについてご理解ください。
- 料金等のお支払い、ご精算はお1人をお願いいたします。

志賀高原では、スキー場、ホテル、スクールがそれぞれ、細心の注意のもと、皆さまに安心・安全にお楽しみいただけるように感染防止を徹底してまいります。感染症予防のための行動にご協力ください。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の状況により対策が変更となる場合もございますので、ご了承ください。

Kitamura SnowSports School

公益社団法人日本プロスキー教師協会公認
キタムラスノースポーツスクール



スキー教育旅行実施のご案内



校長 北村芳則

SIA APステージⅣ、SIA TMステージⅢ、
ISIA 会員、日本赤十字社救急法救急員

私たちの理念

スキー・スノーボードは、自然の中で風を切り、スピードを楽しみ、滑り降りる爽快感を味わえる楽しいスノースポーツであり、冬のレジャーとして広く人々に浸透し続けています。そして何より雪国でなければ出来ないという特殊性を持っています。反面、冬山の大自然の中で行う大変危険を伴うスポーツでもあります。安全を第一に、スキー・スノーボードの基礎・基本操作の習得、スキー場でのルールやマナーを習得していただくとともに、志賀高原の自然を肌で感じていただきたいと思います。修学旅行・スキー教室は、学校生活の中でも大きな思い出に残る行事であり、自然の中に身をおき、非日常生活の中で、生徒さん同士の連帯・協力・友情を深める時間でもあります。また新しいことにチャレンジすることで、上達までの過程で味わう「頑張り」とその先にある達成感が個々の自信につながり、その後の学校生活に活かされると思っております。学校行事の一環と考え、素晴らしい成果が挙げられますようお願いいたします。

キタムラスノースポーツスクール

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一ノ瀬 志賀一井ホテル内

Tel : 0269-34-2729 Fax : 050-3383-3925 e-mail ksss@kitamurass.com

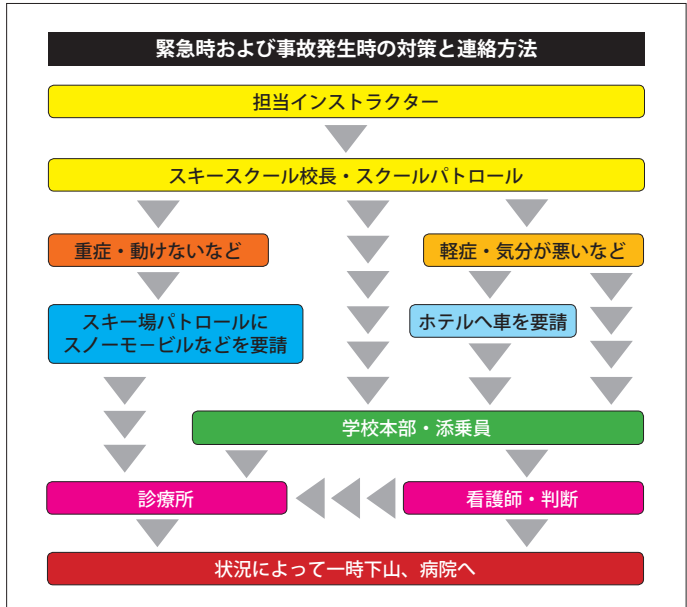
<http://www.kitamurass.com/>

3泊4日のモデルプラン			
初日	午後・時刻 ご到着		スクールスタッフがお出迎えいたします。 バスからの荷物搬出のお手伝いいたします。
	夕食		
	打ち合わせ（学校様、旅行社、スキースクール）		
	ホテルでスキー用具合わせと確認（レンタル・スクールスタッフ）		
2日目	7:30 朝食		開校式式次第 ①学校団長挨拶 ②スキースクール校長挨拶 ③インストラクター紹介 ④生徒代表挨拶 ⑤諸注意 当スクールでの特徴として朝食後に食堂で開校式を行います。諸注意の中で、服装の注意、小物3点（帽子・ゴーグル・手袋）の必要性、講習中の注意事項をご説明します。またロビーでの 出発前にブーツの履き方をスタッフがお手伝いし、玄関前から 班ごとの移動となりますので、ゲレンデでの全体集合なしに講習に入ることができます。昼食時はゲレンデにスキー・ストックを置いてきます（夕方は玄関前まで持ち帰ります）
	8:00 朝食後食堂にて開校式		
	8:30 着替え・準備		
	8:45 班ごとに玄関前集合・出発～講習（2h）		
	11:00 講習終了・ホテルに移動～昼食（班別でコーチと一緒に）		
	13:00 玄関前集合出発～講習（2h）		
	15:15 講習終了・ホテルに移動～玄関前に解散		
	17:30 学校様とスキースクール間での打合せと報告など		
3日目	18:30 夕食		2日目の昼以降、玄関前の集合時間は、各班インストラクターから班の生徒さんにお伝えいたします。多少の時間差を設けて、混乱を少なくスピーディーに動けるよう配慮いたします。 【ナイタースキーご希望の場合】 日中の講習ゲレンデとは、斜度やスピード感の違いなどがあります。各班の進行状況で無理な生徒さんが出る可能性があります。
	8:45 玄関前集合出発～講習（2h）		
	11:00 講習終了・ホテルに移動～昼食（班別でコーチと一緒に）		
	13:00 玄関前集合出発～講習（2h）		
	15:15 講習終了・ホテルに移動～玄関前に解散		
	17:30 学校様とスキースクール間での打合せと報告など		
4日目	18:30 夕食		お帰りの時間に合わせて講習スタート時間の調整を致します。 閉校式では担当インストラクターによるデモンストレーションも可能です。 閉校式式次第 ①学校団長挨拶 ②スキースクール校長講評 ③修了証授与 ④生徒代表挨拶 修了証授与は代表の生徒さんとなります。 バスの出発をお見送りいたします。
	8:45 玄関前集合出発～講習（2h）		
	11:00 講習終了・ホテルに移動～昼食（班別でコーチと一緒に）		
	13:00 玄関前集合出発～講習（2h）		
	15:15 講習終了 集合～閉校式（ゲレンデ下部にて）		
	*閉校式終了後、コーチとともに班別にレンタル返却 ホテルに移動～ブーツ・小物・ウェア返却～帰りの準備 ホテル出発		

IT 検定で上達度をチェック！ 最高峰のゴールドメダルを手にした生徒さんも誕生しています。			
SIA 公認校である当スクールでは、「国際スキー技術検定」および「ジュニア国際スキー技術検定」が実施可能です。これらは国際職業スキー教師連盟（ISIA）が定めた技術検定で、国際的な基準で評価されるのが特徴です。「国際スキー技術検定」のランクは全部で7種類。「ジュニア国際スキー技術検定」は、中学生以下のジュニアスキーヤーを対象としておりランクは全部で6種類です。			
 国際スキー技術検定 ゴールドメダル		 ジュニア 国際スキー技術検定 ゴールドメダル	
検定料2,000円、認定料1,500～2,500円		検定料1,500円、認定料1,500～2,000円	

安全対策について

基本的に学校様の本部は志賀一井ホテル2階ロビーに置きます。当スクールでは、担当インストラクター以外に校長を含め2名以上のサポートスタッフを準備しており、各スタッフ間の連絡は携帯電話を使用しております。校長をはじめ、日本赤十字社救急法救急員の資格保持者の他、日赤普通救急法、消防署救急法の講習修了者が多数在籍しております。講習中にケガや体調不良を起こされた生徒さんは、スクールスタッフがホテルまで引率いたします。現地一の瀬エリアには、一の瀬ダイヤモンドスキー場内のレストランダイヤモンド2階に冬季限定の診療所が12月半ばから3月末まで常設されますがレントゲン設備はありません。緊急の場合、救急車は5～10分程度で来て、北信総合病院もしくは緊急医に搬送されます。



障がいをお持ちの生徒さんへの対応について

障がいをお持ちの生徒さんも、安全に雪山のスポーツを体験いただけるようスクールとホテルが協力体制をとってサポートいたします。障がい者スキー指導に関する研修を受けたスタッフも在籍し、親身に担当いたします。



*障がいの程度により使用用具も異なってまいります。状況などによって実施不可となる場合もございますので、事前のお問い合わせをお願いいたします。

実施にあたってのアドバイス

- ①班人数について、スキーは1班8～10名、スノーボードは1班6～8名編成が適正です。さらに少なればより安全で進捗度も良くなります。
- ②生徒さんの健康状態、既往症、過去1年間の怪我などの特記事項について、事前にお知らせください。
- ③初日欠席された生徒さんなどのために、特別班編成用のインストラクター1名（別料金）をご予定いただくと、講習全体が円滑に進みます。
- ④スキー経験のある生徒さんが多い場合は、アンケートにより調査されたのち班分けをされることをお勧めいたします

スキー経験のある生徒さんも、雪の上に立つのが初めてという生徒さんも、ともに満足いただけるよう、スクール、ホテル、スキー場などが、一丸となってお世話いたします！



当スクールで実施するスキー教育旅行の特色

① スキー、スノーボードなど、スノースポーツ指導経験が豊富なコーチ陣が楽しく講習を行います。

当スクールは、スキーをはじめスノースポーツの楽しさ、面白さを一人でも多くの生徒さんに伝えられるように、プロの有資格者はもちろん所属スタッフすべてがスキーの基本理論から最新の指導法、そして救急法や安全知識など、専門的な研修を終了しています。また志賀高原の環境や自然の知識なども、しっかり把握して、安全で楽しい講習をいたします。さらに、指導経験豊かなスタッフによる安全第一の講習は当然の事ですが、生徒さん1人ひとりの個性を尊重した、きめ細やかで楽しいレッスン展開が私たちのモットーです。



② 講習会場となるロケーションの素晴らしさ

一の瀬エリアは「ファミリースキー場」「タンネの森オコジョスキー場」「ダイヤモンドスキー場」の3つのスキー場、8基のリフトからなり、国際的にも有名な本格派山岳リゾートです。志賀一井ホテルは一の瀬旅館街の中心にあり、いずれのスキー場へも徒歩2分程度と好立地。団体レッスンは、タンネの森オコジョスキー場での初日スタートを基本としますが、生徒さんの上達状況に合わせてご満足いただけるようにアレンジしております。また志賀高原の大きな魅力である「いくつものスキー場をほぼ1日をかけて巡るゲレンデツアー（昼食は各班ごとにツアー先でとるプランも可能）」もレベルに応じて実施可能です。

③ オリジナル修了証の発行により、達成感を鼓舞します

当スクールオリジナル修了証を発行いたします。思い出に残るものとして、A6サイズで他の写真と一緒に保存できるようにしております。お一人でなく班員全員での写真を中心に、学校様の校章も入りますので、大変好評を得ております。撮影・制作はスクールスタッフで行い、閉校式で代表の生徒さんにお渡しします（全員分はお帰りに合わせてお渡しします）



当スクールは、多くの特色と、きめ細かい指導、徹底した安全管理などで高く評価されています。

班編成・技術アンケート調査の参考資料

スキー・スノーボード研修旅行での基本的な班構成は、学校における平均的な生徒数の1クラスを4名の講師で受け持つ班編成です。1班の人数は、8名程度がベストとなりますが、アルペンスキーの場合8～10名、スノーボードの場合6～8名での班編成をお考えください。1班の構成人員が少なれば少ないほど、スキー・スノーボードの楽しさを知っていただくこと、技術の上達度合いはもとより、安全管理の上で非常に効果的です。スキー・スノーボード研修旅行の方針と目的により多少変わりますが、講習自体は、技術レベルに応じた班編成を行なうことで、生徒さん個々の満足感をより得られることは間違いありません。

経験のある生徒さんが多い場合、技術レベルアンケートは下記の方法でアンケートを取り判断されることをお奨めいたします。生徒さんの自己申告によるものと、友達関係や見栄等で、背伸びををしての申告になりがちです。自分の思っている技術よりも実際には劣っている場合が多々あります。その点を充分ふまえてご検討いただきたいと思います。あくまでも参考にすることにし、実際には現地での移動があることを生徒さんに理解しておいていただいた方がよろしいかと思います。

スキー・スノーボードに行ったことが	ある・ない
上で、あると答えた方、何日行きましたか？	1～2日 ・ 3日 ・ 4日 ・ 5日以上（ 日）
リフトに乗ったことが	ある・ない

スキー経験のある方	スノーボード経験のある方
1. 滑るけれど止まれない・自分の思う所で止まれる	1. 横滑りができる
2. 上手くターンができない・左右ターンができる	2. 木の葉落としができる
3. ブルークボーゲン（スキーがハの字）で滑れる	3. 何とかターンができる
4. ブルークボーゲンでどこでも自由に滑れる	4. 左右ターンができる
5. パラレルターン（スキーを平行にして）で滑れる	5. カービングターンができる
6. ウェーデルンができる	6. ドリフトターンができる

なお、各組でごく僅かの場合、日ごろの運動能力、活発的な性格等を考慮され、別けられると良いかと思います。多少のレベル差であれば、各班ごとに対応することは可能です。基本的に先生方のお決めになった班編成で最後まで行ないます。班移動に関しては、技術面もありますが、生徒間の関係も加味して先生、生徒自身とご相談の上、移動いたします。なお、プラス1名の講師は、初日に休まれた生徒さんや、技術的に難しい生徒さんを対象とし、個別もしくは別班で講習をし、コーチの判断で元の班に復帰させるようにします。その他、事前に些細なことでもご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせください。